

7月定例山行

森山（坂横浜 152m） 花火見物

安芸郡坂町

7月25日(土)

【参加者】9人

C L 松尾幸男 S L 三浦美雄子

宮木夫妻 林 三浦さんの孫たち4人 O B : 佐々木

【報 告】



やまぼうし恒例の花火見物ですが、何人集まるか心配していましたが、三浦さんのお孫さんをあわせて9人が集まりました。

19時坂駅に集合し、ようやく太陽が森山の影にかくれ、海からの涼しい風が少しく吹く中を佐々木さんの案内で墓場からの登山口へ。舗装した階段を子どもたちは元気よく先を歩く。山に入ると風はぱつたりやんと蒸し暑い中を登る。階段が終わると尾根道に入り木が茂り薄暗い中を登りついた頂上の展望台には先客がいました。昨年もお会いした自衛隊の人たちでした。大きなクーラーバッグに氷と缶ビールを詰めて登ってきました。すっかりできあがっていました。

頂上は涼しい風が吹いていて気持ちよく、花火の打ち上げを待つ間に夕食を取りました。すぐ信号花火が上がりきっかり8時に花火の競演が始まりました。

迫力満点の大きな花火にオーという歓声が上がります。山上からの花火見物は丁度目の高さに花火が開くのでよく見えます。海は見物の船でいっぱいでした。

8時から9時までで花火がおわったので暗闇の中を下山しました。登山道を下るとき怪しげな光が2つゆらゆらと揺れていたので、ライトを向けてよく見ると、糸トンボの目がライトの光を受けて光っているのが大変印象的でした。とても蒸し暑い日でしたが、皆さん満足されたことでしょう。

(記 松尾幸男)



今年も美しい花火の饗宴が繰り広げられた